

玉村町教育委員会点検・評価報告書【概要版】令和元年度対象

＜令和元年度 教育行政方針＞

＜学校教育のめざす子供像＞
 確かな力を身に付け 心豊かに たくましく生きぬく子供
 ～自ら未来を拓く学校教育の創造～

＜生涯教育のめざす人間像＞
 学ぶ喜びを味わい 自己を磨き 豊かに生きようとする人
 ～生きがいと絆をつくる生涯学習の推進～

2019年度 玉村町の教育

玉村町教育委員会
 (教育行政方針)

夢叶える教育のまち たまむら

- 基本目標** 心豊かな人材を育み、郷土の歴史・文化を大切にすまむら
(第6次玉村町総合計画)
- 基本理念**
- 全ての町民が夢と希望をもって理想を追求することができるよう、社会の変化に対応した教育を実践する。
 - 家庭・学校・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に連携・協働した教育を実践する。
(玉村町教育大綱)
- 基本方針** 全ての教育(家庭教育・学校教育・社会教育等を含む)において
- 「生きる力」を育み、社会の変化に主体的に対応できる人を育成する。
 - 一人一人が生涯活躍できるよう、自己を磨き、共に学ぶ環境をつくる。
(玉村町教育大綱)

2019年度 方針

教育の原点を見つめ、本質を見極めた改革

よりよく生きるために

『自立』『共生』 → 自己実現

＜1年間の点検・評価の流れ＞

1学期

- 教職員全体研修会、年度始学校園訪問
- 社会教育委員会、ばらサミット関連行事

2学期

- 教職員研修会、玉村町子供議会
- 文化センターまつり、総合芸術展

3学期

- 年度末学校園訪問、子供芸術展
- 自己評価、外部評価、令和2年度教育行政方針策定



重点1 「自立する力」と「共生する力」を育む教育活動の充実

玉村町教職員研修会

小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から新学習指導要領が全面実施になります。そこで、新学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた公開授業及び授業研究会を全小中学校を会場に実施しました。公開授業後のアンケート調査では、100%の教職員が「参考になった」と回答しました。また、授業研究会では、若手からベテラン教諭等、参加者全員が積極的に意見を出し合いました。目の前の子供たちに確かな学力を身に付けさせるために、各自が授業改善に前向きに取り組むことができています。

教師力の向上

5月に開催した教職員全体研修会では、早稲田大学教授の河村茂雄先生を招き、「主体的・対話的で深い学びとQ-Uの関係」について、講演いただきました。また、教師の学びの場として、町スクールカウンセラーや教育相談員施設職員を講師とした「教職員リレー講座」を開催しました。様々な研修を通して教師力の向上が図れています。



重点2 地域とともにある学校づくり

玉村町子供議会

「住民の夢を叶えるために、よりよい玉村町を目指して」をスローガンに、令和元年12月25日に開催しました。各小中学校から代表者2名(男女1名ずつ)が子供議会議員となり一般質問を行いました。町についての疑問や提案がなされ、子供の視点から玉村町の未来を考える機会となりました。

地域の教育力を生かした学校・園づくり

各学校・園において、保護者や地域人材、県立女子大学等の学生、専門家等を活用した放課後の学習支援や長期休業中の体験活動、授業における体験活動の充実を図りました。これらの地域との交流活動を通して、子供たちが主体的に学ぶ様子が見られました。



重点3 教育環境の充実・整備

ICT環境の拡充

小中学校に児童生徒用のタブレットパソコンを増設しました。これにより、小学校は35台増え57台に、中学校は40台増え84台になりました。また、より有効に活用するために、体育館を含む校内施設全てで無線LAN環境が快適に利用できるようにしました。さらに、教員用のパソコンもタブレット型にしたことにより、教育用と校務用の二つの用途に対応できるようにしました。

教職員の多忙化解消

全小中学校に、授業準備補助や学習プリント等の印刷、調査統計補助等の業務を行うスクール・サポート・スタッフを全小中学校に配置しました。先生方は、児童生徒への指導や教材研究等、本来の業務に専念でき、負担軽減の一助となりました。また、業務改善の有効な取組が広がってきました。



重点1 生涯学習の推進 簡茂木集会所人権カフェ

「今日のひと時をみんなで楽しく 一思いやりの心が人権の基本」という演題で人権講演会を開催し、身近な民話や民謡を基に、心に残る人権についてのお話をいただきました。参加された皆さんは、先生の熱心な、時には笑いを誘うお話にすっかり引き込まれていました。心温まる良い話だったと大変好評でした。これからもふれあいの居場所等、地区の団体とタイアップして人権啓発活動を推進していきます。



重点2 文化財・地域資源活用の推進 昔の道具展

「昔の道具展」は、小学校3年生の社会科授業「古い道具と昔の暮らし」と連携したミニ企画展です。一般の方々や町内小学校3年生が見学し、学習の一端を担うことができました。児童は羽釜など昔の道具を観察し、気になった道具をスケッチしていました。また、関連行事として草履作り体験を行い、参加した小学生は布を間違えないように編む難しさ、鼻緒を取り付けた時の嬉しそうなる表情等、中身の濃い時間になりました。



重点4 芸術・文化活動の推進 ワークショップ「ばらの花飾り作り」

5月に開催された『ばらサミット』に関連した事業として、ワークショップ「ばらの花飾り作り」を実施しました。参加者は講師を務めた職員の説明を真剣に聞きながら、とてもステキな花飾りを作ることができました。また、図書館内に『ばら』に関する本の特設コーナーを設けたところ、来館者からはとても好評でした。



重点3 青少年の健全育成 子供向け避難所体験教室

少年少女教室の一つとして、群馬大学理工学部金井教授を講師に迎え一泊二日の日程で開催しました。当日は同大学の学生が講座のサポートを行い、受講者は避難するのに必要だと思うものを自宅から持参しました。そして、玉村町のハザードマップを用いたパズルや避難所でのルール作り、段ボールで寝床作りや非常食の調理などを行いました。参加者は、防災について意識を高くもつことができました。



重点5 生涯スポーツの推進 巡回スポーツ教室

子供にスポーツやレクリエーションに親しみきっかけづくりと身体を動かす楽しさを知ってもらうために小学1・2年生の児童を対象に町内全ての小学校でスポーツ教室を開催しました。この教室では、ソフトバレーボールやテニスボール、ニチレクボールなど様々な用具を使って身体を動かし増した。今後もスポーツを通して、健全な心と身体の健康づくりを推進していきます。

